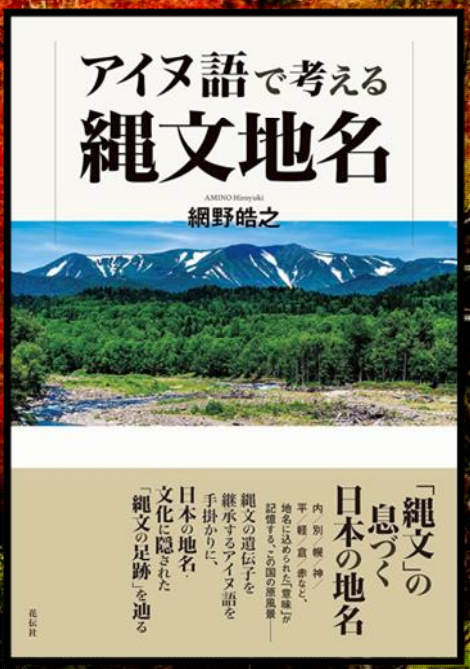
今日の１冊

アイヌ語で考える縄文地名

網野 皓之　著



【内容】

日本の地名には「縄文」が息づいている−。ワッカナイ、ベップ、コンピラ、カルイザワ、アカバネ…。縄文の遺伝子を継承するアイヌ語を手掛かりに、日本の地名・文化に隠された「縄文の足跡」を辿る。
（引用:TRC MARC）

【著者紹介】

〈網野皓之（あみの・ひろゆき）〉
1947年北海道生まれ。札幌医科大学卒業。医業に従事。著書に『やっぱり、家で死にたいんだ』『在宅死のすすめ』など。（引用:TRC MARC）